

芝地区公式SNSフォローしてね!

芝地区地域情報誌

VOL. 66

2023年11月発行

発行部数 31,250部

発行

港区芝地区総合支所協働推進課

〒105-8511 港区芝公園1-5-25(港区役所2階)

TEL 03-3578-3192 FAX 03-3578-3180

ボランティアの  
編集委員が  
つくっています

# しばタグ

SHIBA-TAG



バックナンバーをWebにて公開中

芝情報誌

検索

## 新橋二丁目の交差点に佇む名建築「堀ビル」



堀ビル外観



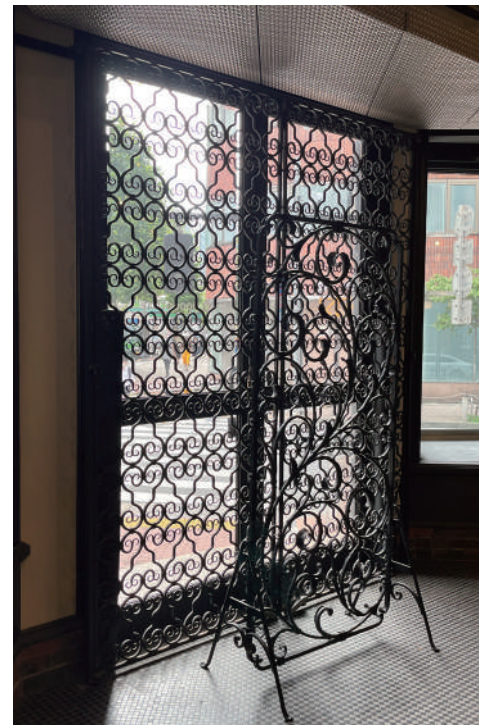
建物外壁タイル



屋上塔



1階会員制シェアラウンジ



装飾が美しい正面入り口

新橋駅の繁華街の一角に、品格と重厚感のある美しいビルが佇んでいます。堀ビルは、昭和7年(1932)、錠前など建築金物の製造販売を行う堀商店のオフィスとして建てられました。

### 新しい働き方を叶える名建築

堀ビルは、地下1階から3階までを堀商店のショールーム、オフィスとして、4階が住居、5階には塔屋があるテラスとして使われていました。公保敏雄とその実兄である小林正紹が共同設計。平成元年(1989)には東京都の選定歴史的建造物に、平成10年(1998)には国の登録有形文化財に登録された非常に貴重な歴史ある建築物です。

現在は、新しくシェアオフィス「goodoffice新橋」として5階のテラスを含め、契約者さまにご利用いただける充実のワークスペース空間として活用されています。

(2面へ続く)



3階オフィス個室



屋上テラス

### INFORMATION

goodoffice新橋(グッドルーム株式会社)  
新橋2-5-2 TEL 03-6403-4560

しばタグ

目次

VOL.66

- 新橋二丁目の交差点に佇む名建築「堀ビル」..... P1
- 【とらここ】 芝 八百宗商店..... P3
- 【歴史探訪】 江戸時代の蘭学者 川本幸民..... P4
- 【ご近所ラボ新橋】 Let's Enjoy Japanese Tea! ..... P5
- 【芝の家・ちゃが台日誌】 夏編..... P5
- 【芝の老舗】 森永乳業株式会社..... P6
- 町会自治会TOPICS..... P7
- 【芝地区さんぽまんが】 しばテク ～芝地区テクテク～①..... P8
- 東京法務局からのお知らせ..... P8

MINATO CITY





# 時代の空気を感じる歴史的建造物

## 歴史的建造物の保存活用

地価が上がり続ける港区で、現在、歴史的な建物を残していくことは非常に難しく、貴重な存在です。ビルを残すために、どのような苦労があったのか。歴史的な価値を活かす工夫について、竹中工務店の新規事業として、オーナーから建物を借り受けて運用をするなど、歴史的建造物の保存活用を推進している鍵野さんにお伺いしました。

## クラシックな外観を遺すために

改修前は、外壁にはネットが張られ、タイルが落ちてこないようにしていたそうです。

壁面には、スクラッチタイルの外壁や、錠をモチーフにしたレリーフの飾りなどがあります。タイルの補修には赤外線照射による測定など、最新の技術も活用されたといいます。

美しいビルの外観を残すために、本来であれば外に出てくる配線や空調のダクトを外壁側に出ないように設計の工夫がなされました。補修で最も大変だったことは、設備の改修だったのではないのでしょうか。



当時のままの手摺り



曲線美が美しい窓



当時の装飾を天井デザインに再利用



当時の鍵の設計室



4階オフィス



取材にご協力くださった竹中工務店の鍵野さん

## 時代の空気を残す空間づくり

交差点に面した扉の意匠や、1階の床のモザイクタイルは、昭和初期のものが活かされ洗練された空間で、階段室はトラバーチン(大理石)の貴重な石が使われていました。

階段を上った2階奥には、物語の中の世界にあるような扉があり、その部屋は世界の鍵を集めた展示室だったそう。また、3階にも重厚で特徴的な不思議な扉があり、鍵の設計室となっていました。その扉は、実際にオーダーのあった水密性の高い扉のサンプルとして設計し使われていたといいます。

階段の手すりはアーチの意匠、その階段に使われているねじられたデザインの鉄棒は、戦時中の鉄が不足した時に、外されず残されたものだというエピソードや、一部の床は、金継ぎで補修されているといったストーリーが非常に興味深く、窓の格子として使われていたものを、天井上部の装飾に再利用するデザインがとても美しく印象的でした。

居室だった4階フロアは当時、子ども部屋として使われていたとわかる装飾が残されており、居間のカーテンレール、窓の曲線美に時代の面影を感じました。

## 後世に遺すべき建築

現代の無機質なビルにはない温もりや、エピソードが随所に残る空間には不思議な力があります。当時の気配を感じ、改めて保存活用の素晴らしさに触れ、堀ビルのこれからの保存活用事業の成功を祈り、大事に後世に遺していきたいと願っています。

取材・文：伊 貴玲



神谷町交差点にほど近い、国道1号線(桜田通り)に3代続く青果店「八百宗」があります。5年前に、再開発で200mほど離れた現在の地へ移転してきました。

オフィスビルに囲まれた街の中、かわいいほっとする空間を作り出している青果店です。

取材・文：伊藤 早苗



常時70-80種類の商品を取りそろえています



(左から)母・雅子さん、3代目店主・勝弘さん、妻・りえ子さん

## 朝が早い青果店の日常

3代目店主・酒井勝弘さんは、毎日午前2時に起床。3時には豊洲市場へ。店主自ら、野菜や果物を吟味し、仕入れを行っています。

午前中は前日に注文を受けた顧客のもとへ配達に行きます。遠くはスカイツリーのある墨田区の方へも車で届けます。

8時にはお店を開け、午前中は勝弘さんのお母さんが店番をしています。古くからのお客さまとも顔なじみで、お店に来ると昔からの知った顔に会えるので、店番をするのは苦にならないとのこと。



りえさんと雅子さんが、ていねいに商品の説明をします。取材中も、ひっきりなしにお客さまが来店していました

## 目利きの3代目

店主の目利きには絶対の信頼を寄せている注文先のお客さまは「品物は新鮮で品質は確か」ということで、長い付き合いがあるようです。

毎日仕入に行くので、品物はフレッシュで品質が良いものばかりです。地域の再開発で地元を離れた飲食店とは、今でも取引が続いているのもうなづけます。

取材中にもお客さまがひっきりなしに来店していました。品質の良い物のみを扱っているため、目の肥えた顧客が訪れます。



初代手作りの「釣り銭箱」。お札、硬貨と種類別になるよう工夫されています

20坪程の小さな青果店ですが、存在感はピカイチ。八百宗さんの歴史を伺いました。

## 名物の漬物

神奈川県より上京した初代・酒井宗次郎は、戦前、芝区神谷町(現在の虎ノ門五丁目)に「八百宗」を開店しました。当時は荷車を引いて築地市場に仕入れに行っていました。

40坪程の大きな店構えで、昭和40年(1965)頃は2代目(酒井正勝)の姉が店の奥で精肉店も営んでいました。

正勝は「つけものコンテスト」で昭和61年(1986)に銀賞を受賞するなど、店の発展に力を尽くしました。毎週漬物を買いに訪れるお客さまが今でも絶えません。ぬか漬は1年中毎日ぬか床をかきまわし、70年の奥深い味わいが出ています。冬は白菜漬けもあり、人気です。



70年続くぬか床。毎日手を入れています

1年中評判の「ぬか漬け」

## お客さまとの会話

来店するお客さまは近所の住人、会社勤めの人々など。場所柄、外国人の方も多いようです。仙石山ヒルズの保育園の幼い園児たちも季節のものを買いに来ると、雅子さんは目を細めて、話してくれました。



暑い中の気の利いた対応「果物は冷房の効いた店内に」のお知らせ

## 虎ノ門 豆知識

港区では「住居表示に関する法律」が制定され、昭和39年(1964)から順次新しい住居表示が実施されました。そして今の虎ノ門地域は、昭和51年(1976)10月1日から新町名に表示変更されました。以下「虎ノ門」に変更になった「旧町名」をご紹介します。( )内が旧町名です。

- 虎ノ門一丁目 (芝虎ノ門、芝琴平町、芝西久保桜川町)
- 虎ノ門二丁目 (芝西久保明舟町、赤坂葵町)
- 虎ノ門三丁目 (芝西久保巴町、芝西久保広町、芝神谷町)
- 虎ノ門四丁目 (芝西久保巴町、芝西久保城山町、芝葺手町、麻布市兵衛町)
- 虎ノ門五丁目 (芝西久保八幡町、芝神谷町)

●区ホームページより

## INFORMATION

有限会社 芝 八百宗商店  
虎ノ門4-2-4  
TEL・FAX 03-3431-7094  
営業日 月～金 9:00～18:00



# 歴史探訪

## 江戸時代の蘭学者 川本幸民

江戸時代後期に漢方を学び、芝露月町(東新橋)、芝濱第5街(現三田三丁目あたりか?)近辺にも住み、蘭方医学、和蘭語を習得し、麦酒の製造法、化学や物理学などの近代的理化学の扉を拓いた撰津三田藩(兵庫県)の川本幸民略伝です。

### 御恩奉公の幸民と蘭学

川本幸民(1810-1871)は、藩侍医の子で、藩校造士館に入学、漢方医学を修めます。藩主九鬼隆国(1781-1853)は、幸民の非凡の才を認め、生涯において支援してくれました。

19歳の幸民は江戸勤務になり、芝西久保(虎ノ門)の丹波篠山藩(兵庫県)の蘭方医足立長橋(1776-1837)に師事し、優秀だったために、蘭方医坪井信道(1795-1848)の医学塾に推薦されます。信道は、蘭医学の人体の感受力、触覚器などについて『診候大概』を著し、病名、原因、予後、治方、撰生を述べあう教育をしました。幸民は信道の下で3年間修行し、漢方と蘭方医学と和蘭語の修めます。

幸民は帰郷後、三田藩臨時御用になり侍医を務めました。26歳で江戸常住を命じられ、七人扶持となります。幸民は、天保6年(1835)外宅の許可を得て、芝露月町(東新橋)に居宅1軒、25坪を29両で取得、地代1ヵ月1両で借りました。この年、幸民は蘭学者故地林宗の三女秀子(師、信道の妻の妹)と結婚します。露月町で医師開業とも言われますが、殿様、若奥様から絵鏡、御手熨斗を頂戴したとの記録から結婚のための転居のようです。

27歳、幸民は突然刃傷事件に関わり、藩邸に幽閉、藩主の恩情で浦賀に蟄居させられ、5年を過ごします。赦されて、江戸の藩邸近くの桶町(八重洲二丁目)に住みました。その後34歳の幸民は、藩主九鬼隆国が二本榎(白金一丁目)に隠居をすると近くの「芝浦」、つまり芝濱第5街近辺に住み、漢方の古今の書を研究して生薬を計り調べて、古の名医に迫ろうと医学と蘭学の道に精進します。藩主が火災で本所菊川町の三田藩下屋敷に移ると、幸民はお供し、江戸在勤で、外医を命ぜられます。幸民は43歳で、藩主が亡くなる嘉永5年(1852)までお傍を離れず奉公しました。

### 麦酒製造法と写真機

幸民はその間に、オランダのヨハネス・ボイス(1764-1838)らが著した蘭学書を翻訳し、41歳にて『気海観欄広義』を書きました。この書で、麦酒は硬気(炭酸ガス)が良く相し。「…



川本幸民生誕200年にあたる平成22年(2010)に、兵庫県三田市より復元依頼を受けて小西酒造が作った「幕末のビール 幸民麦酒」

泡ヲ起ス…舌ヲ刺ス…多ク、氣強ク味美ナリ。今栓ヲ開キテ大氣ニ觸レシムルハ、硬氣ノ一分…泡トナリテ飛散ス。」と解説し、後の万延元(1860)の『化学新書』で「細磨セル麦芽」録(きび100粒の重さ)ニ冷水3鉢ト沸湯4鉢ヲ和スル者ヲ注ギ…温處ニ置キ。撰氏65度ヨリ70度ノ温ヲエセシムレバ其液甘味ヲ生ジ…」と麦酒の製造法を記述しました。それ故に、幸民は後に日本の麦酒の先駆者と言われています。

幸民は45歳で嘉永7年(1854)に『遠西奇器述』を蘭書から翻訳し、人物像、動かなければ遠近を問わず実景を写せる写真影鏡(写真機)を実験し、版元の薩摩藩は蒸気船を模製しました。加えて、遠くても銅線がつなぎ数秒で音信のできる越歴的爾の電信機、蒸気機、蒸気車の原理について解説しました。

幸民は薩摩藩主島津斉彬に推薦され、幕府の蕃書調所(後の洋書調所、東京大学等)教授手伝いに就任しました。

### 「化学」の新日本語訳と「亜多母」(原子)の日本語訳、創めての物語

当時の江戸後期には「化学」という言葉がなく、オランダ語のCHEMIEを、日本語訳で「舎密」の漢字を当てていました。

幸民は安政3年(1856)『兵家須説舎密真源』を翻訳し、舎密は「離合の義なり」と言っていました。文久元年(1861)『化学新書』で、醋は酒から変わるように、「…温 若ハ火象ヲ起シテ、其軽重、形状、剛柔、色澤、臭味、動力ヲ變シ、コレニ因テ更ニ全ク新性ヲ具スル物ヲ生ズ、此象ヲ名ツケテ、化学作用トイフ」と翻訳、定義づけをしました。そして、明治4年(1871)に発行された『化学通』で「化学ハ原名舎密加トイフ」と記述しました。

このようにして幸民は日本で初めて「化学」の語と定義をし、以後一般的に「化学」の語が使用されるようになったのです。

また、江戸後期まで極小のものを微塵、極微などと言っていました。文化5年(1808)頃、「原子」の発見がイギリスで提唱されました。これから約50年後、幸民は『兵家須説舎密真源』の中で、極微の意味の「原子」に当たるオランダ語、ATOOMを「亜多母」、複数ATOOMENを「亜多縮」と日本語訳の当て字を創りました。そして「水」は「一亜多母の酸素と二亜多母の水素なり」と現代の化学式H<sub>2</sub>Oを理解したようです。

日本では明治6年(1873)、石黒忠憲(1845-1941)が「分割シ得可ラザル至微極細ノ物質ニテ」として「原子」の言葉を初めて使いました。

### 外国条約書の翻訳

幸民は50歳で蕃書調所の教授となり、徳川幕府直参となりました。嘉永7年、アメリカとの日米和親条約成立後、安政5年(1858)に幸民らは、合衆国、尼達蘭、俄羅斯、不列顛、佛蘭西



川本幸民像(日本学士院所蔵)

と続く通商条約の各項目のオランダ語の「外国条約書初開原文」の翻訳を命ぜられ、安政7年(1860)、上記5ヵ国との条約文言の誤訳などの指摘と修正について本を残しています。

### 晩年

蕃書調所が洋書調所に改名した明治元年(1868)、幸民は59歳にて息子の清一とともに洋書調所を辞して、三田に帰郷、英蘭塾を開きました。しかし明治3年(1870)に清一が太政官出仕となって東京に戻り、明治4年(1871)、幸民は62歳の生涯を終えます。

幸民の人柄は、心清く、信を曲げず、多くの研究結果をのこしましたが、入門弟子も少なく、患者にも厳しかったようです。しかし、一度親交を結ばば温厚に接したといわれています。慶応3年(1867)頃の世相に対して洋学を学ぶ者に天誅を加えるなどの暴説流行に対し、「怖くはないが、生徒が少なくなると学問が進まない」と嘆く、学者一途の人生でありました。

文：森明

**参考文献**  
川本裕司、中谷一正著「川本幸民伝 近世日本の化学の始祖」(共立出版、1971)  
緒方富雄著「坪井信道塾の研修記録としての前田信輔著「日習堂医按」」『日本医学雑誌』第16巻第3号  
坪井誠軒著「遠西二十四方・診候大概」/京都大学貴重資料デジタルアーカイブ  
川本幸民著「養英軒雜記」/新日本古典籍総合データベース  
富村登著「常徳の西洋学者」常徳文化史研究会  
池田運著「青地宗林の世界」愛媛県文化振興財団  
青地林宗著、藤田元順校 瑪峰臨著「気海観欄」/早稲田大学蔵  
川本幸民著「気海観欄広義」/早稲田大学図書館蔵  
川本幸民著「遠西奇器述」/京都大学貴重資料デジタルアーカイブ  
川本幸民著「兵家須説舎密真源」/国文学研究資料館  
川本幸民、裕重訳「化学新書」(日本学士院)/川本幸民関係資料、001-002-003/国文学研究資料館/国文学データベース-国文学研究資料館  
川本幸民訳述「化学通」(1871)/早稲田大学蔵  
『蕃書調所職員明細帳』/国立国会図書館デジタルコレクション  
版上正信著「化学新書」解説・実験の手引きp.83/三田市郷土先哲顕彰会  
金子務著「近代日本における「理学」概念の成立」『東アジア近代における概念と知の再編成』35巻  
八耳後文著、日本学士院蔵「川本幸民 化学関係史」(日本化学会)国立国会図書館蔵「江戸時代の日蘭交流 第1部 歴史をたどる」  
『3蘭学の興隆(1) 徳川吉宗と蘭学の萌芽』  
中原勝敏著「黎明期の化学用語」『化学と教育』第37巻第5号(国立研究開発法人 科学技術振興機構、1989)  
石黒忠憲著「化学訓蒙」巻1-8/早稲田大学蔵  
維新史学会編集「幕末維新外交史料集成」第1巻 第3巻/国立国会図書館デジタルコレクション  
實作阮南、川本幸民等、森山多吉郎等校「外国条約書初開原文」/早稲田大学図書館蔵  
緒方富雄著「川本幸民と蘭学者たち」『日本医学雑誌』第17巻第3号

まるで我が家のリビング

## ご近所ラボ新橋

### Let's Enjoy Japanese Tea!

日本人も外国人も楽しさが広がる「英語で日本茶」

新型コロナウイルスによる渡航制限が解除され、今では外国人観光客が多く来日して、日本の魅力を楽しんでいます。中でも、日本の国民茶である緑茶を味わっている外国人の方が増えています。

ご近所ラボ新橋の隣のホテルのカフェで勤務している桜井昌代さんは、店を訪れる外国人のお客さまに日本茶のすばらしさを伝えたいのに、英語でうまく表現できないことをもどかしく思っていました。

今年の春、日本茶のファンを増やして輪を広げる活動をしている「日本茶アンバサダー協会」のメンバーとして、銀座松屋デパートで番茶のイベントを手伝った際、日本茶に興味を持った外国人のお客さまに対して、仲間と知恵を出し合ってコミュニケーションを図りました。みんなの知恵を分け合って語学力を高めることができるのではないかと、その



なごやかな雰囲気、英語と日本語を交えて説明される桜井さん

ふらりと  
お立ち寄りください!



本日使用した「茶洞茶」のパッケージと茶葉

ときひらめいたのです。そして隣のよしみで事務局のせなさんに相談すると、地域交流施設として仲間づくりを目指しているご近所ラボ新橋の方針と一致していることから、「英語で日本茶」の会が実現しました。

8月29日、この日は参加者の皆さんの「Hello!」のあいさつからスタート。埼玉県狭山市で栽培されている奥富園の「茶洞ふくみどり」



実際にお茶を淹れて、味の違いを実感

茶が振る舞われました。飲んだあと、口の中に果物のような甘い香りが残りました。

英語と日本語が入り混じった説明が続きます。淹れたお茶と和菓子が出され、「上質なお茶と和やかな雰囲気、一層おいしくいただけました」と、参加者の表情がなごんでいました。

「一つでも二つでも単語を覚えれば、それで充分です。何回か参加していくうちに少しずつ覚えていきますよ」

これから煎茶・番茶と増やしていき、一緒にお茶を楽しんでいくうちに仲間の輪が広がり、みんなでモチベーションを上げていきたい、というのが桜井さんの目標です。



茶洞茶と和菓子で楽しいひととき

### INFORMATION

ご近所ラボ新橋 新橋6-4-2 きらきらプラザ新橋1階  
TEL 03-6459-0789 MAIL lab@gokinjo-i.jp  
http://lab.gokinjo-i.jp



取材・文：千葉 みな子

## 芝の家・ちゃぶ台日誌 夏編

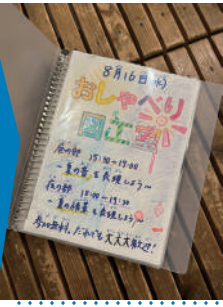


「どーん」という音からイメージを表現しています

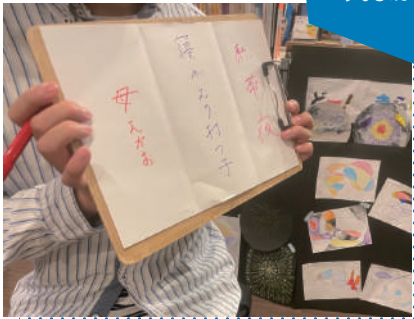
### 表現を楽しむイベント「おしゃべり図工室」

8月に初めて開催された、おしゃべりを楽しみながら表現を楽しむイベントです。「どーん」「キラキラ」という音から思い浮かぶイメージを表現したり、夏的情景をそれぞれが一言ずつイメージし、それを紙に書いてみんなでつなぎ、一つの句を作ってみたり、夏の1日、表現をともに楽しむ時間をもつことができました。おしゃべりしながら表現を楽しむ時間、季節ごとに開催していけたらいいと話しています。この日生まれた作品は、ファイルに綴じて閲覧できるように置いてあります。よかったら手にとってみてくださいね。

文：芝の家・芝地区総合支所協働推進課



みんなの作品をまとめたファイル



ひとつの句を作ってみました



おしゃべりを楽しみながら作品を作る、楽しい時間

### INFORMATION

芝の家 芝3-26-8 TEL 03-3453-0474  
〈開室日時〉火～金 11:00～16:00/土\* 12:00～17:00  
\*芝のほらっぱ活動日を除く  
〈休館日〉日・月・祝 http://www.shibanoie.net

開室時間は変更が生じる場合もあります。最新の情報はホームページや掲示板をご覧ください。

どなたでも自由に入出りできる「まちの交流拠点」芝の家。日々近所の方から遠方の方まで、年代も0歳～学生～シニア世代の方まで、多種多様な方が立ち寄ります。

芝の家の日常とイベントなどをご紹介します。どのイベントも、どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。詳細はホームページをご覧ください。



### 「駄菓子コーナー」

芝の家にはずっと駄菓子のコーナーがあり、子どもから大人まで大人気です。子どもたちは握りしめたお金の中で「どれが何個買えるか?」を一生懸命足し算をして考えていたり、大人たちは「懐かしい!」と思い出を語ったり。選んでいる間も楽しそうです。



子どもたちにとっては大好きな、大人たちにとっても懐かしい、駄菓子コーナー

### 「芝の家の本棚」

芝の家には1旧拠点から持ってきた素敵な本棚があります。その中には色んな方から引き継いだ本がたくさん。手に取ってお家の中でゆっくり読むこともできますし、お貸しすることもできます。絵本コーナーもあり、小さなお子さまも楽しむことができます。ぜひ、緩やかな時間を過ごしてください。



貸出もしている図書コーナー



そして月に一度の「コーヒーの日」。楽しみにしてくださる方が増えています。どなたでもお気軽にどうぞ(日程はHPでご確認ください)。



# お芝の老舗

健康と栄養の源「ミルク」

## 「森永乳業株式会社」

毎年6月1日は「世界牛乳の日」。「牛乳月間」として、6月には毎年さまざまなこころみが催されています。

令和5年(2023)6月9日、田町駅西口の森永プラザビル敷地内(東京都港区芝)では、森永乳業株式会社、大貫陽一社長と社員のべ60人が、赤いジャンパー姿で「森永牛乳200ml」(常温保存可能品)と牛乳の豊富な栄養素などを記載したリーフレット、森永製菓「カカオの力(ハイビターココア)」を無料配布しました。

「常温で保存可能なミルク」は、森永乳業が大切にしてきた技術の一つです。災害時にも健康と栄養の源となるミルクを、創業者の森永太郎と初代社長である松崎半三郎が聞いたらどれほど驚くことでしょう。

### 創業のあゆみ

森永乳業は大正6年(1917)9月、日本煉乳株式会社として設立されました。森永製菓がつくる製品「森永ミルクキャラメル」の原料となる練乳を製造・販売する会社として始まりました。



大正6年、森永乳業の前身、日本煉乳株式会社が創業

大正10年(1921)11月に、日本で初めて機械装置による育児用ミルク「森永ドライミルク」を発売。昭和4年(1929)12月に「森永牛乳」を、昭和8年(1933)9月には「森永チーズ」の発売を始めます。令和5年はチーズ製造を始めて90周年を迎える記念の年です。

その後ヨーグルトやアイスクリームなど乳製品を次々に売り出します。森永製菓との合併分離を経て、昭和24年(1949)4月に現在の森永乳業株式会社となりました。



昭和24年、森永乳業株式会社設立

### 森永太郎と松崎半三郎

東洋の菓子王と呼ばれた森永製菓創業者の森永太郎は、アメリカで製菓を学びました。太郎は牛乳・乳製品に対する知識があり、酪農・乳業を発展させることで、栄養面においても日本に貢献できると考えていました。もう一人、太郎の片腕として事業を盛り上げた松崎半三郎は、スイス滞在の



昭和4年、びん詰め「森永牛乳」を発売

経験があり、乳の栄養面に知識がありました。

二人の出会いは、森永製菓の歴史にもあるように、キャラメル原料の取引先である貿易会社にいた半三郎の手腕を買ひ、太郎が三顧の礼を尽くします。その結果、太郎は製造を、半三郎は営業とその他一切を担当し、二人三脚で事業を進めていきます。

第一次世界大戦の影響で外国製乳製品の入手が困難になると、キャラメルの原料である練乳を輸入品に頼るのではなく、国内で製造し酪農を育てることで国力を増加したいと思いました。

大正6年、愛国煉乳合資会社を買収し、日本煉乳株式会社を設立。大正8年(1919)に練乳製造・販売開始。乳牛飼育を農家に招請し、北海道に専用の施設を立ち上げ、乳の安定供給に力を注ぎます。

日本煉乳株式会社の初代社長に就任した半三郎は、戦時中は、酪農を守りながら育児用ミルクの生産確保に尽力。自社だけではなく乳業界の全体の発展に力を注ぎました。日本乳業界の父と呼ばれる所以です。

関東大震災の際、比較的被害が少なかった同社は、支援物資に尽力します。全社員で芝公園、日比谷公園で配給にまわり、当時は「ミルクの接待(粉ミルクを配給)」と新聞に掲載されました。被災した家庭には子ども向けにコンデンスミルクやクッキーを配るなど、「共存共栄の企業精神」で支援活動にあたりました。

以降、営業拠点や工場がある町や住民に感謝をし、地域社会への貢献に努めてきました。現在でもさまざまな商品や取組みを通じて行われる、社会貢献活動につながっています。

### 戦争を乗り越えて

太平洋戦争の戦時下で、乳製品製造に制限が敷かれます。その間は、福島工場に大量にあったこんにゃく粉を活用してこんにゃくなどを製造販売してしのぎました。空襲にも耐え、建屋周辺のポプラ並木が戦火を防いだおかげで、田町の本社は奇跡的に残ります。戦後の昭和24年、法律が整備され乳に関する制限は廃止されます。これを機に第二次森永乳業として再スタート。現在の森永乳業に至ります。

昭和42年(1967)、森永乳業の創業50周年として、那須高原に那須農場(現:那須岳麓農場)を設置します。きっかけは昭和38年(1963)頃から酪農家が減少し始めたことによる、国内酪農への危機感です。乳業メーカーとして、酪農経営の実態を真摯に受け止め、乳業界へ貢献する策を考えました。そして、酪農政策のモデルファームを立ち上げます。栃木県を中心とした酪農家から若い牛を預かり、乳が出るタイミングで牛を農家に返すというサポートを行っています。酪農家の収入源である乳を出せるようになるまで、牛は食事と排便はもちろん、健康面のサポートなど手間がかかります。そのため、その間の世話を引き受けてくれるのは、酪農家にとって大きなサポートにつながります。また、牛の乳質を考慮した飼料販売、健康状態や種付けの研究もしています。

### かがやく「笑顔」のために

平成29年(2017)、森永乳業創業100周年を節目に、コーポレートスローガンを「かがやく「笑顔」のために」に変更します。新たな経営理念と社員みん

なで決めた「8つの問いかけ」を行動指針としました。また、令和5年3月にはウェルビーイングステートメントを策定し、「社員ひとりひとりが、個性と能力を発揮し、森永乳業グループならではの価値を届けることで人びとから支持を頂き、報い報われるウェルビーイングの好循環」を目指しています。

また、創業100周年記念として「ギネス世界記録」に挑戦するプロジェクトを行いました。「お客さまと一緒に達成感を味わいたい」と、1会場で行われる世界最大のデザートデコレーションレッスンを企画。会場のビッグサイトには、2,000名を超えるチャレンジャーが集まり、一斉にケーキをつくりました。出来上がるまでの間、トイレに行くのも認められません。子どもから大人まで、みんなが気持ちを一つにし、力を合わせてギネスに挑戦しました。その結果平成30年(2018)3月、2,095名でのギネス世界記録®を達成しました。



ギネス世界記録®に挑戦する様子。右上是、達成を喜ぶ宮原会長(当時:社長)

### 技術開発が未来をつくる

乳を原料とした商品開発の過程で生まれた研究技術が多くあります。例えば育児用ミルクを開発している過程で、赤ちゃんの便にビフィズス菌が多く含まれていることを発見します。そこで、腸内に棲みついた菌の中でも、人の健康に寄与するビフィズス菌を配合した、ビヒダスヨーグルトが誕生します。

また、ビフィズス菌などを活用した機能性ヨーグルトやサプリメントなどが数多く商品化されました。

常温で長期保存可能な豆腐はロングライフ牛乳の技術が活かされています。賞味期限が長いロングライフ豆腐は、南極観測隊など食品が日常的に手に入りにくい場所でも活用されています。常温で日持ちのするロングライフ商品は、東日本大震災の際にも重宝されました。近年では、大人のための粉ミルク「ミルク生活」がJAXA公認の宇宙日本食に認定されています。



取材にご協力いただいた広報IR部の皆さん

100年の歴史に培われた研究や技術が、未来の食を支えていくのを感じました。

まちや人とつながり、健康に役立つおいしさを追求し、未来の社会へ貢献していく姿勢は、創業から変わりなく、受け継がれています。

取材・文:早川 由紀

### INFORMATION

森永乳業株式会社 芝5-33-1  
TEL 03-3798-0111  
<https://www.morinagamilk.co.jp/>



# 町会自治会 TOPICS

## 町会・自治会ってなあに?

町会・自治会は、同じ地域に住んでいる皆さんが自主的に結成し、防災・防犯、環境美化、コミュニティなど、さまざまな活動を自主的に行っている団体です。地域の行事や活動、日ごろのご近所さんとの交流が、住みよい暮らしにつながります。今年も、各町会・自治会でさまざまな親睦行事が実施・予定されています。

## 三田一丁目秋まつり

開催場所: 元神明宮神社境内、パークコート麻布十番三田ガーデン棟前通り

み た いっちょうめちようかい  
三田一丁目町会

9月16日(土)と17日(日)に、三田一丁目町会は地域の活性化と親睦を兼ねて、「三田一丁目秋まつり」を開催しました。

初日は踊り大会が開催され、太鼓の音とともに踊りを行い、地域の皆さんや外国の方の参加で大変にぎわいました。踊り大会の際に貸し出された三田一丁目の半纏は外国の方にもとても好評で、町会との親睦を深めるものとなっていました。

17日(日)は、模擬店やキッチンカーが並び、子どもから大人まで、参加した多くの方々楽しんでいました。また、お昼頃にはブチ緑日のほかに元神明囃子や和太鼓の演奏も行われ、たくさんの人で賑わいました。

(三田一丁目秋まつりのエリアは、三田一丁目全域です)



## 汐留イタリア街夏祭 2023

開催場所: 汐留西公園

しおどめちようかい  
汐留町会

「汐留西公園」は汐留イタリア街にある、イタリアの街中の広場をイメージした公園です。車道や歩道と同じ石畳が公園に続き、広い広場となっています。

8月3日(木)と4日(金)に、汐留町会は毎年恒例の「汐留イタリア街夏祭2023」を汐留イタリア街商店会と一緒に開催しました。

公園を囲うようにして売店やステージが並び、中央には飲食スペースが設けられました。日によって売店が異なるので2日間楽しむことができる行事となりました。午後8時からは夏の大抽選会が開催され、多くの仕事終わりの方や地域の皆さんでにぎわい、存分に夏を楽しむことができるイベントとなりました。

(汐留町会のエリアは、東新橋2-3,4,8,9,13~18です)



## 町会・自治会への加入はこちらから

二次元コードをスマートフォンで読み取り、東京共同電子申請・届出サービスの「町会・自治会加入案内」のページから申請してください。後日、該当する町会・自治会または区担当者から連絡します。



### お問い合わせ

芝地区総合支所協働推進課協働推進係  
〒105-8511 港区芝公園1-5-25  
TEL 03-3578-3123





※令和5年10月現在



しーばん

芝地区に住んで3年目。  
まち歩きが趣味



ばっしー

芝地区にあるカフェの2代目  
店主。歴史オタクでもある

## 登記所備付地図作成作業のお知らせ

東京法務局では、下記作業実施地区において、公共基準点に基づく精度の高い地図（不動産登記法第14条第1項に定める地図）を作成します。地区内の土地の所有者様には、土地の境界確認の立会いなどに、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 作業実施地区

西新橋一丁目の一部  
ほか地区

### 作業期間

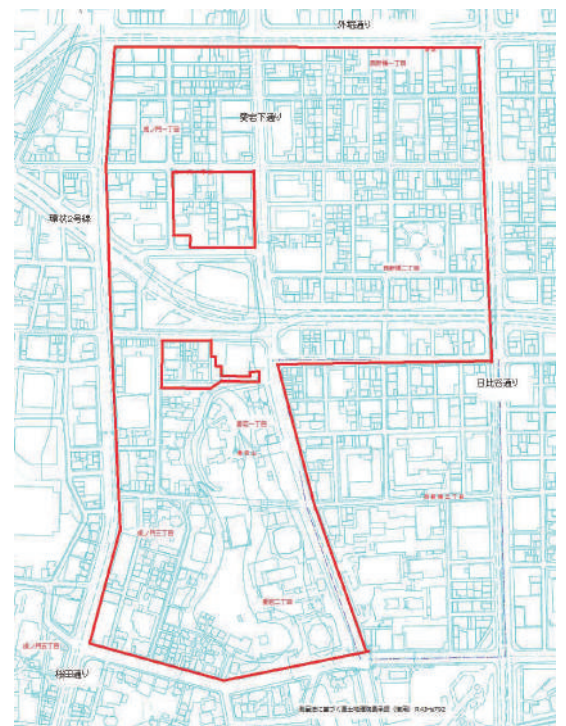
令和5年7月から  
令和7年3月まで

詳細については、東京法務局ホームページをご覧ください。

<http://houmukyoku.moj.go.jp/tokyo/>

### 問合せ先

東京法務局不動産登記部門地図整備室  
Tel.03-5213-1414(直通)



- ① good office新橋 → P1、P2
- ② 有限会社 芝八百宗商店 → P3
- ③ ご近所ラボ新橋 → P5
- ④ 芝の家 → P5
- ⑤ 森永乳業株式会社 → P6

Follow me!



芝地区総合支所 公式SNS



X (旧Twitter)  
@shiba\_minato

Instagram  
@minato\_shiba\_official

港区芝地区総合支所協働推進課  
〒105-8511 港区芝公園1-5-25(港区役所2階)  
TEL 03-3578-3192 FAX 03-3578-3180  
<https://www.city.minato.tokyo.jp>



区ホームページ

●編集委員……伊藤早苗/景山潔/菊池弓可/桑原庸嘉子/竹内哲子/千葉みな子/土岐恵子/早川由紀/逸見チエコ/森明/伊貴玲(敬称略)  
●配布場所……芝地区総合支所内の地域(芝、海岸一丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田一～三丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕)の方にお届けしているほか、地区内各施設などで配布しています。

区役所のサービスや施設・催しの案内  
みなとコール  
TEL 03-5472-3710  
(年中無休 8:00～20:00)

買い物するなら  
地元の  
商店街で  
Going shopping?  
Visit our  
shopping  
streets.